

食品安全委員会セミナー 「食品安全分野におけるリスクコミュニケーションに 関する国際セミナー」報告

2014年11月12日、欧州食品安全機関（EFSA）及びフランス食品環境労働衛生安全庁（ANSES）から専門家を招き、リスクコミュニケーションに関する国際セミナーを開催しました。

今回のセミナーでは200名近い方々が来場され、リスクコミュニケーションに関する講演と質疑応答による有意義な意見が交わされました。当委員会の熊谷進委員長による挨拶で開会し、堀口逸子長崎大学広報戦略本部准教授がコーディネーターを務めました。

始めにANSESのブノア・ヴェル



▲ANSES、ブノア・ヴェルグリエットウ氏

グリエットウ（Benoit Vergriette）リスクコミュニケーション及び社会に対するコミュニケーション室室長の「リスクコミュニケーションから社会との対話へ：ANSESの経験から得られた知見」、続いてEFSAのローラー・スマイリー（Laura Smillie）上席コミュニケーション・アドバイザーの「リスクコミュニケーション—EFSAの実績と今後の展望—」が講演されました。当委員会からは姫田尚事務局長が、リスクコミュニケーションの現状と今後の課題に触れた「食品安全委員会におけるリスクコミュニケーションの取組について」を発表。質疑応答ではリスクコミュニケー



▲EFSA、ローラー・スマイリー氏

ションの具体的な手法について意見が出るなど、参加者の高い関心が伺えました。

2014年度は当委員会でリスクコミュニケーションのあり方についての勉強会を設置し、有識者を交えた意見交換を行っており、今後の議論に大いに活かせるセミナーとなりました。



食品安全委員会と 欧州食品安全機関（EFSA）との定期会合開催

2014年11月13、14日食品安全委員会の会議室において、食品安全委員会と欧州食品安全機関（EFSA）との定期会合が行われました。

2009年12月に、食品安全委員会と欧州食品安全機関（EFSA）は、連携を具現化しさらなる連携強化を目指すため、協力文書を締結しました。協力文書に基づき、2011年11月に第1回定期会合、2014年1月に第2回定期会合を行っており、今回は

第3回目の定期会合となりました。EFSAからは科学戦略及び協調局ジュリアン・クレイナー局長及びジン・リン国際科学協力首席専門官が出席。リスク評価の方法や個別の課題について情報交換・意見交換を行い、今後も両機関の協力関係を維持し連携を強化していくことについて合意しました。

また、会場の付近を菊の花や折り紙などで飾りつけ、日本のおもてなし文化をお伝えしたところ、会合の終わりにクレイナー局長から、両機関のさらなる発展に役立つ有意義な会議であったこととともに、当委員

会のおもてなしに大変満足しているとの挨拶がありました。



◀熊谷委員長とクレイナー局長



▲会合の様子



▲会合の参加者